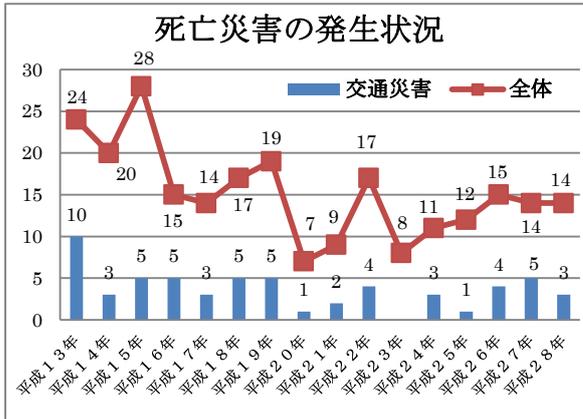


## 交通労働災害における死亡災害の発生状況

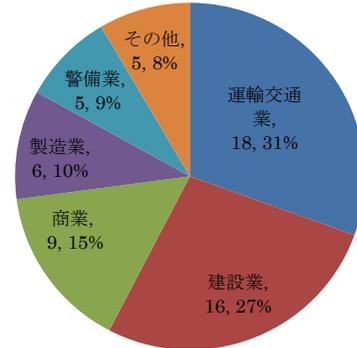
### ● 年別・業種別死亡災害の発生状況

宮崎県内の交通労働災害による死亡災害の発生状況をみると平成28年の死亡者数は3人(前年より2名減)となっているが、ここ10年は、5人以内で増減を繰り返している状況にある。

平成13年から平成28年の状況をみると、この間の死亡者数は59人となっており、業種別にみると、交通運輸業31%、建設業27%で、この2業種で半数を超えている。

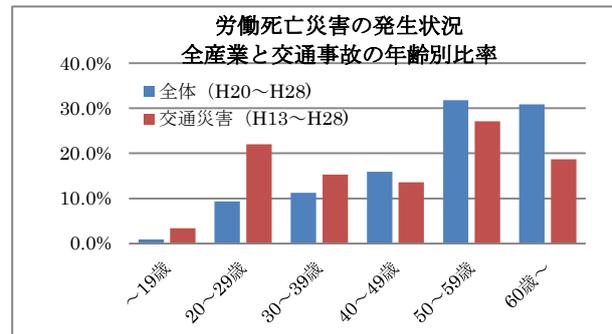
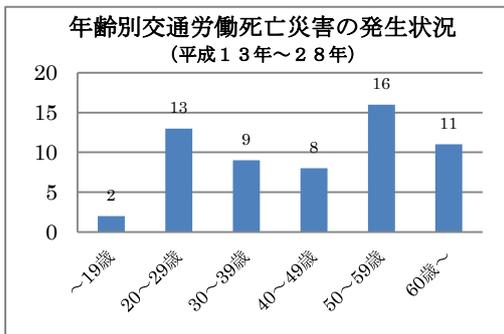


業種別交通死亡災害の発生状況  
(平成13年～28年)



### ● 年齢別死亡災害の発生状況

交通死亡災害について、年齢別にみると、50才以上が多くなっているが、全災害と比較すると、20歳から39歳の比率が高くなっている。



### ● 交通死亡災害の発生原因等

平成13年から平成28年の交通死亡災害の発生状況をみると、中央線オーバー35%、停止車両との追突19%、路肩からの転落・標識等への追突19%、交通誘導中10%等となっている。

中央線オーバーに係る災害については、中央線をオーバーしたのは、被災者がおよそ6割となっている。また、停止車両への追突災害については、追突したのは、その7割が被災者である。

